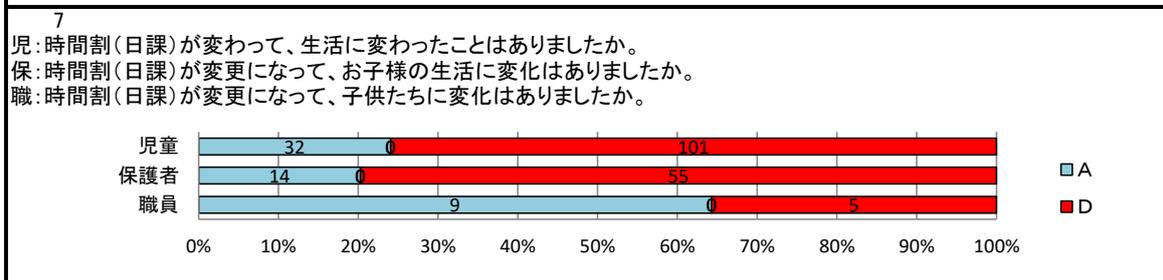
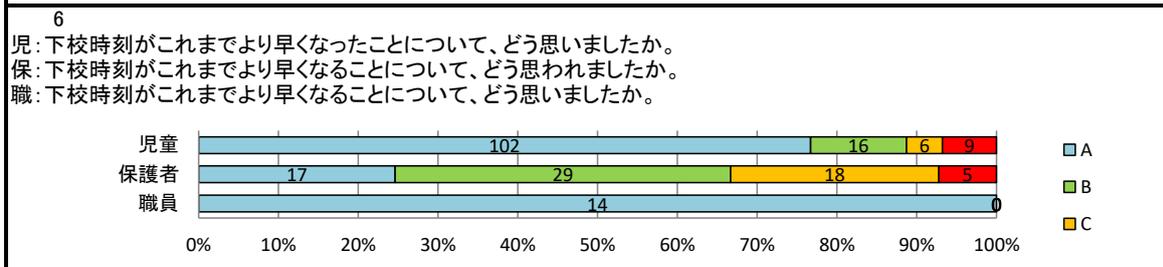
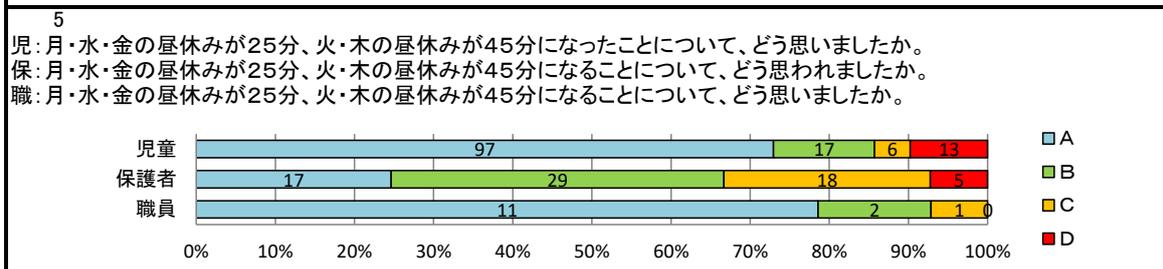
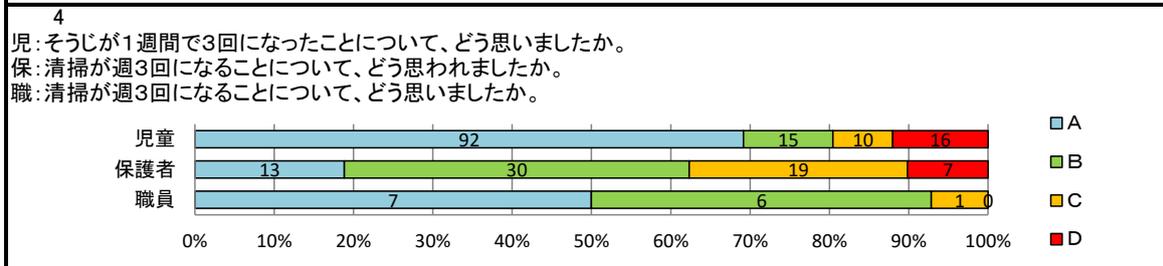
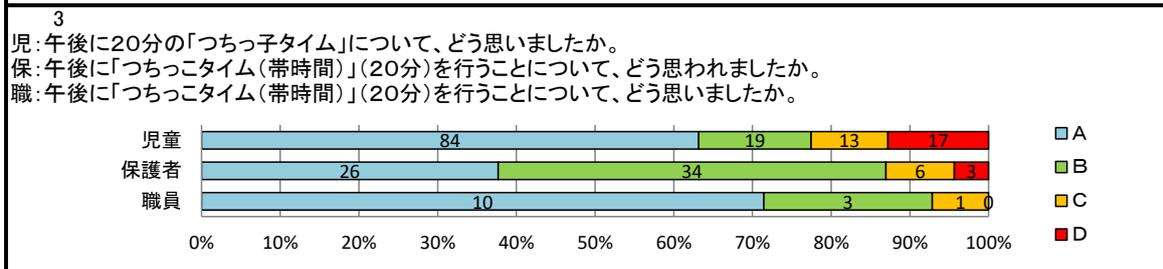
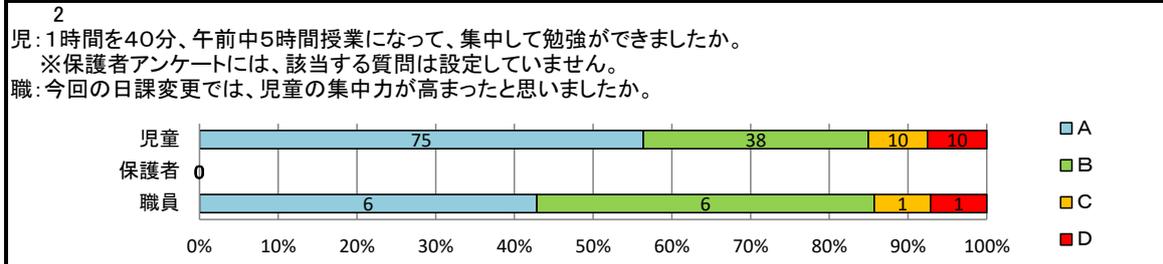
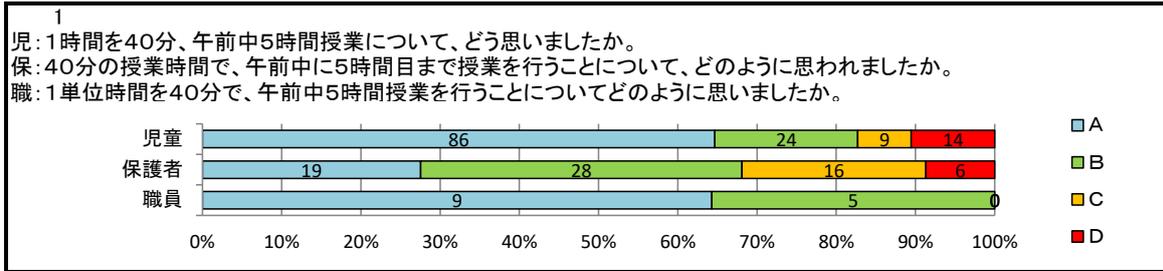


津知小学校 時間割(日課)アンケート結果

A: よい(あった) B: どちらかといえばよい C: どちらかといえばよくない D: よくない(とくになかった)



保護者の皆様からのご意見 回答：19件

たくさんのご意見ありがとうございました。ご質問やご指摘のあった内容については、「Q & A」の形でお答えさせていただきました。これまでの日課を「従来日課」、試行した日課を「試行日課」と表記させていただきます。

【学習面について】

Q 授業中にやりきれなかった課題が放課後に追加の宿題とならないか不安です。

A 「試行日課」でやり残しが生じて、宿題にしたということはありませんでした。日課に関わらず、授業中にやり残しがでないように、授業の組み立て方について研修を継続する必要があります。また、やり残しが生じた場合は宿題にするのではなく、別の時間を確保して授業の中で指導することを徹底していきます。

Q 40分で授業がちゃんと出来ているのか、つちっ子タイムでの20分で集中出来ているのか。

A 「試行日課」開始当初は児童も先生も戸惑いがありました。しかし、次第に慣れてきて集中して学習に取り組めるようになった児童が多くなりました。つちっ子タイムは、復習にあてたり6時間目と合わせて60分授業に挑戦したりするなど、柔軟な対応が可能になりました。

Q つちっ子タイムを有効に使うなど、学力や学校生活に影響がないようにしてほしい。

A 大きな影響はなく、つちっ子タイムを活用してより効率的に学習を進めることができました。

Q 低学年なのであまり気にはしていないが、習い事もしていないので学力の低下や差が心配。

A 学力の低下や差が出ないように、学習の質を高めた授業を進めることができました。

Q 授業時間が短い中で、先生も子供も負担は無いのか？1年生なのでまだ授業内容が簡単ではあるが、学年が上がると詰め込むようになるのではないかと？

A アンケート結果に示したとおり、先生、児童とも概ね好評を得ています。しかし、児童の中には「午前中5時間だとお腹が空く」「前の時間割の方がよい」という意見もありました。一方、「集中して学習ができた」「家で勉強することが増えた」といった肯定的な回答も多くありました。

【生活面について】

Q 月曜～金曜日まで同じ時間帯が好ましく、中学・高校に入って午前中に5時間というシステムを周囲では聞かない。上の学校と似た時間割にした方が生活リズムは狂わない。業間休みはあまり必要と感ぜない。つちっ子タイムの復習時間よりは通常の授業を受けた方がよいと思うが、自分の考え方が凝り固まっているだけなのかもしれないので、慣れもあるとは思う。

A ご指摘の通り、中学校や高等学校では午前中5時間は聞きません。一方、月曜日から金曜日まで同じ時間がよいとのご指摘については、「試行日課」でも午前中は月曜日から金曜日まで同じ、給食後の日課を月・水・金と火・木の2パターンにしました。1時間の授業を40分にした理由は、より一層集中して学習に取り組むことで学習そのものの質を高めたいという考えに基づいています。業間休みについては、やや長めの休憩を入れることで、リフレッシュして学習に取り組めるようにするための時間と考えました。つちっ子タイムについては、午後の時間を有効に使うように、復習の時間だけでなく、20+40分の60分授業ができるようにしました。例えば、理科の実験や図画工作の制作、総合的な学習の時間の調査活動などは、60分授業が効果的だと考えました。

Q 本人に聞いたら、40分は早いとの返事でした。曜日によって、昼休み時間の長さや掃除の時間の有無が変わるより、日課はなるべく同じほうがいいのかなと感じました。

A 昼休みの時間は、児童が様々な活動（遊び、委員会活動、学級活動等）を行うために必要な時間で、その時間を十分確保したいという思いからロングの昼休みを週2回設定しました。そのため、清掃を週4回から週3回に減らし、日頃からきれいに使う習慣を身に付ける指導を行いました。

Q 親としては、冬場は特に陽の明るいうちに帰宅できるので安心だが、我が子にはあまり合わないようで、授業時間が足りないんじゃないかという不安、午前の空腹感、午前中に詰め込まれて頭がおいつけないと話していた。

A 「試行日課」により、お子様が戸惑ってしまったようで配慮が十分ではありませんでした。授業時間については、1年間通して「試行日課」を実施しても、文部科学省から示されている「標準授業時数」を十分確保できません。空腹感については、給食開始の時間が「従来日課」より5分遅くなってしまいました。また、午前中にいわゆる「座学」と言われる教科を多く行うため、詰め込まれているように感じさせてしまったこと、申し訳ありませんでした。

Q 雨の時の下校が仕事している時間な為、迎えが間に合わず祖母などをお願いする事になり非常に困る。朝、下校時の天気予報を確認するが、確実ではないし、歩きで帰る事もできるが会社が市内ではない為、学校付近の天気の様子も確認できないから困ります。雨さえ降っていなければ早くの下校はいいのかもしれないがその点は困る。

A 下校時刻が早くなりましたので、ご心配はごもっともだと感じています。雨天時の下校について、日課に関係なくお迎えが間に合わない場合は、学校で待機するなどの対応を検討していきます。

Q 早い下校で一人で家にいなければならない時間が増え、親としては心配。共働き家庭が増えていて子育て支援が叫ばれているのに、早く下校させて、下校後の配慮はないのでしょうか？各家庭で学童なり留守番なりやってくださいという事ですか？学校教育だけでなく家庭の事も含めて考慮していただきたいです。

A ご指摘は真摯に受け止めさせていただきます。下校後の家庭での過ごし方については、日課に関係なく学習面を含めた指導を継続していきます。一方、下校時刻が早くなったことで放課後に余裕が生じ、授業準備の時間が十分確保でき、質の高い学習を進められたことをご理解ください。

Q 令和6年には高学年にはなりますが、学童にも行かせてないので帰りが早くなると1人で家に居る時間が長くなります。防犯や事故の不安が大きくなりますので、帰り時間が早くなるのはあまり良くないかと思えます。

A ご指摘は真摯に受け止めさせていただきます。下校後の家庭での過ごし方については、日課に関係なく学習面を含めた指導を継続していきます。また、事故防止等については、日課に関係なく地域の皆様の見守り等のご協力を得られるよう、働きかけをしていきたいと考えております。

Q 午前中に5時間授業は小学生の子供にとって体力的にもきついと思います。普段の休み時間の5分も短いと思います。

A 1・2時間目、2・3時間目、4・5時間目の間に5分の時間がありますが、これは休憩時間ではなく準備時間です。従来の日課でも、1・2時間目、3・4時間目の間は5分の準備時間でした。一方、業間休みまでに3時間の授業があることに違和感を感じた児童もいました。

Q 日課変更に伴う子供達の適応力が心配でした。特に低学年は難しいと思いました。

A 低学年の児童アンケートでは、9割以上の児童が「試行日課」に肯定的でした。当初戸惑いもあったようですが、時間の変更に対応できたように感じています。

Q 子どもに聞いた反応でアンケートを答えました。ずっと慣れていたリズムを変えることに、子どもはまだ慣れていないようなので、そのような反応になったかと思います。

A 児童アンケートでお示したとおり、多くの児童が「試行日課」に肯定的でした。当初戸惑いもあったようですが、時間の変更に対応できたように感じています。

【その他】

Q 下校時刻の変更はバス下校についての為とあったが、登校時間については考慮しなくていいのだろうか？

A 登校時間については、現状の登校班の集合時刻やバス乗車時刻を大きく変更しないように要望していく予定です。

【肯定的なご意見】

- 特にありません。よろしくお願いします。
- 今のところ特に無し
- 冬になると暗くなるのが早い為、早く帰宅してほしい。帰宅してからの時間が増え、子供達も友達と遊ぶ時間も増えたりするのでいいと思います。
- 下校時刻が早くなる事で家庭での生活、冬場や天候不良時の下校中の安全面など、様々なところでメリットがあると感じました。
- 子ども達が学校で変わらず楽しみながら過ごせるよう、家庭でのサポートも頑張りたいと思います。

お子様にどのような変化がありましたか。 回答：14件（●マイナス面 ○プラス面）

- 家庭での日常生活に不備はなかったが、4時間目ぐらいからお腹が空いて5時間目の授業に集中出来ない事が少し増えたらしい。
- 午前中にお腹が空いて授業に集中できなかった。
- 早く下校する事で一人で家で待たなければいけない時間が増えた。
- 疲れやすくなった。
- 午前中に眠くなると言っていた。
- 宿題の終了時間が早くなり、屋外運動や習い事に費やす時間にゆとりがうまれました。
- 放課後の友達と時間と学習の時間が余裕を持って取れるようになった。
- 自分の時間の使い方について考える事ができた
- 家でゆっくりできる時間ができたため、前に比べ気持ちに余裕があるように見受けられます。
- 読書できる時間が増えた。
- 家庭で出来る事が増えた(家の手伝い、自主学習、自主トレーニングなど)。
- 下校後、自由な時間が増えた。
- 帰宅時間が早いので、友達と遊ぶ時間が増えた。
- 今までは、習い事などで宿題が9時過ぎにやる感じでしたが、下校が早くなった為帰宅後でも宿題をやる時間が作れるようになり、寝る時間もその分早くなった。

児童からの意見 回答：17件

- 10時の休み（業間休み）が少なくなった。
- 5時間目の時、お腹が空く。
- 5時間だとお腹が空いてしまう。
- つちっ子タイムを短くして、下校時間を早くする。
- つちっ子タイムをなくして下校時間をもっと早くしてもいいと思った（もしくは授業時間を長く）。
- 休み時間（業間休み）までに3時間あるのが変。
- 前の時間割が良かった。
- 前の時間割が良かったです。
- 時間割は元に戻した方が「今何時間目だっけ？」等の混乱は防げると思う。
- いいと思います。
- このままで（新しい時間割）でいいと思います。私生活にも問題なしでした。
- このままでも良いです。
- すぐに変えて良かった。
- ずっとその時間割でいい。
- ずっとその時間割が良い。
- とても良い。反対する理由がない。とても素晴らしい考え。不満は何一つない。逆に、反対する人はいるのかなと思う（でもいるとは思うけど）。
- 午後の授業に今まであまり集中できなかったから、午前中に5時間の方が集中できる。

生活にどのような変化がありましたか。 回答：24件（●マイナス面 ○プラス面）

- 授業が集中できなかった。
- 授業が集中出来なくなった。
- テレビを見る時間が増えた
- 帰り道が変わった
- 以前より疲れやすくなった
- 絶対（変わったことは）ないです
- 4時30分でやるならいざにまにあう。
- 先生が、にっかがかわるよていったから。
- 宿題が早くおわるようになった。
- 集中力が増えた。
- 家に着く時間がはやくなったから宿題がはやく終わるようになった。
- はやく宿題が終わるようになった。
- 家で勉強をする事が多くなったこと。
- 宿題をやる時間が多くなった。
- お手伝いがいっぱいできた。
- 塾の宿題のやる時間が増えた。
- 宿題をする時間が今まであまり無かったからこの時間割の方が宿題ができる。
- 今までよりちゃんとできた。
- 昼休みが長くなってグラウンドを狂ったように走り回った
- スムーズに、勉強できた。
- 帰りが早くなった。
- 学校が楽しくなった。
- 家庭学習を始める時間が早くなった。
- 習い事に行くまでの時間が増え、しっかり休んでからいけるようになった。

先生からの意見 回答：7件

- 支援学級児童は教室の移動が多いため、慣れるまで移動に時間がかかります。時間の確保や内容の吟味で工夫が必要になるかと思います。
- 掃除の時間は、毎日ある方がいいかなと思いました。毎日子どもたちが生活している教室、トイレ、廊下、等、ゴミ、汚れが出るので、毎日清掃できる方がいいと思いました。午前中に5コマあることが、慌ただしと感じましたが、まだ、1ヶ月しか行ってないので、私が慣れないだけだとも思います。
- 賛成です。午前中に勉強を集中してできるからです。
- 可能なら、4月からも実施していきたいです。
- 今回の日程に賛成です。
- 特にありません。
- 工夫が必要な時間割・・・理科・体育は、中休みや昼休みの後が良いと思われる。理科の実験準備、跳び箱などの用意などゆとりを持ってできるから。

子供たちにどのような変化がありましたか。 回答：9件（○プラス面）

- 集中力が高まった。
- 集中している気がしました。ロング昼休みのために勉強を頑張っていました。
- 午前中がぎゅっと詰まっているせいか、子どもたちの過ごし方が前よりも静かだったように思います。
- この期間の方が、表情が明るくなった気がします。
- 午前中、集中して学習に取り組む児童がいた。
- 授業に集中して取り組んでいるように感じました。
- ロング昼休みを楽しみにしていた。
- ロング昼休みの日の給食後は特に素早く行動し、より長く遊ぶために行動しようとする姿が見られた。朝すぐに朝の会が始まることで、「席について」「始まるよ」という声かけが増え、朝の準備が遅い子ども達も早めに行動することが出来た。
- 授業に集中して取り組んでいた。問題が終わらないときにつちっ子タイムを使って学習することができた。